

請 願 文 書 表

(令和2年6月17日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第10号(2.6.10) 国に対し、新型コロナウイルス感染症を防止し、子供たちが安心して通学するために少人数学級の実現を要請する意見書提出を求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>緊急事態解除宣言を受け学校が再開されたが、長期の休校の影響は大きく、子供と保護者は疲弊してストレスや不安を抱えている。教職員は経験のない負担と混乱の中で教育を行い、子供の命を守るために頑張っている。再開後の感染予防の徹底、子供の健康状態の把握や心のケア、子供の学習・成長・発達機会の保障、生活環境を整えること、一人一人へのきめ細かい対応がこれまで以上に求められている。</p> <p>文部科学省の「学校の新しい生活様式」や兵庫県の「ひょうごスタイル」においても、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で1～2メートルのソーシャルディスタンスが必要と呼び掛けている。営業再開後の飲食店や映画館では席数を減らして間隔を設けて対応している。</p> <p>しかし、学校では40人学級のままではソーシャルディスタンスを保つことができない。約8メートル四方の教室内で物理的に距離を確保し学習指導をするには、20人以下の少人数学級の実現が必要である。子供や保護者からは、学校に行くことへの不安の声や、分散登校時のような少人数形式の継続を求める声が揚がっている。</p> <p>緊急に、必要な教室や教職員を確保するとともに、ソーシャルディスタンス確保の抜本的改善のために20人以下の少人数学級の実現と、そのために教職員を増やしていただきたい。「小学校1年生だけ35人学級」という低すぎる国の基準を見直し、神戸市で少人数学級を進めて子供の命を守っていただきたい。</p> <p>よって、新型コロナウイルス感染症を防止し子供たちが安心して通学するために、20人以下の少人数学級の実現を求める意見書を国に提出するよう請願する。</p>
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市垂水区 新日本婦人の会 垂水支部 尻池直美 ほか9名</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>今井まさこ</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>文教こども委員会</p>